

スポーツも見えない相手との闘い

体育協会の新型コロナウイルス感染拡大防止の為の基本的予防ガイドライン

新型コロナウイルス禍はまだまだ先が見えにくく収束の見通しもつかめない状況です。東京都の感染者数がこのところ100名を超し不安が一杯です。

政府は、このような状況下にあるがイベント入場者数の緩和が7月6日(月)新型コロナウイルス感染症対策分科会で7月10日(木)より予定通り実施することについて了解されました。

今後、開催される市民体育大会や練習等の活動において身体の安全安心を第一義として対策を設けて活動する必要があります。当体育協会では、下記のような対策のガイドラインを作成しました。各団体においては、体協のものに付け加えて、それぞれの上部団体で作成されたガイドラインを参考に本市の状況に適したガイドラインを作成し、活動、運営をお願い致します。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為のガイドライン(申告・確認書)

1. 「(特非) 東大和市体育協会の新型コロナウイルス感染拡大防止の為の基本的予防ガイドライン」
密集・密接・密閉の三要素を避けることを前提とします

氏名		歳	男女	電話番号
同伴者氏名		歳	男女	電話番号
住所	〒			
1	当日の体調が悪いときや身近に感染が疑われる方がいれば、勇気をもって棄権しましょう。			
2	当日の検温結果	℃、(保護者/同伴者 ℃)		
3	体調報告 : せき、喉の痛み、風邪っぽい症状	無し	ある	
4	会場入口で手指消毒をしましたか	はい	いいえ	
5	マスクを持参すること(競技中以外は必ずマスク着用)、大声での応援・会話は禁止			
6	観戦中はマスクを着用し、他の参加者やスタッフとの距離をあける(出来れば2m位)			
7	飲み物、食べ物は個人で管理し、残ったもの、ゴミは必ず自分が持ち帰ること。			
8	個人の競技用具(ラケット等)は貸し借りしない、タオルなど共用はしない。			
9	競技方法(練習や試合等)は主催者や管理者の指示に従う。			
10	自分の持ち物は自分の責任で管理して下さい。会場内での忘れ物は主催者・管理者で保管せず、当日又は翌日すべて焼却処分に出されます。			
11	競技終了後の器具備品の消毒、片付けは主催者・管理者の責任で行う。			

上記の体協ガイドラインに加えて、各団体の上部のガイドラインを参考にして、当市の事業に適したガイドラインを作成し、安全・安心のできる円滑な練習や大会に活かして運営をしていただきたい。

※ガイドライン作成の参考資料として

1 (公財) 日本スポーツ協会発信の

「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」

参照 HP : <https://www.japan-sports.or.jp>

特に 「スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト」には、

主催者向けとして ①全般的なこと ②スポーツイベント参加募集時の対応 ③当日の参加受付時の対応 ④スポーツイベント参加者への対応 ⑤イベント主催者が準備すべき事項の対応

参加者向けとして ①参加者が遵守すべき事項 ②参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

2 各競技種目のHPを参照 例 日本卓球協会のガイドラインは10ページ である。

3 東大和市 Rondみんなの体育館の使用のガイドラインを遵守すること。

事例 卓球連盟のガイドライン

1 ① ダブルスの練習、競技はしないこと。

② 競技方法は主催者や主管者の指示に従う。(具体的に)

ア 試合中にチェンジエンドはしない。次の選手は、テーブルの後方で待機する。

イ 敗者は、審判を行う。

ウ 試合終了者は、帰宅か、観覧席でマスクを着用し観戦しても可。

③ 飲料は自分専用のもを飲む。握手などの身体を接触する挨拶はしない。

④ 更衣した衣服は、自分のバックに入れ、自分で管理すること。(更衣室に置かない)

スポーツの持つ力を通してフレイル予防 共に汗を流そう

新型コロナウイルス禍によって不要不急の外出の自粛や三密を回避するために運動活動の施設や図書館、公民館等の施設が閉館や制限が設けられました。また働く形態も改善されて、これまでの日常の生活に大きな変革が求められるようになりました。とりわけシニア層の年代の運動不足、人との交流(コミュニケーション)不足などが要因で体調にも影響が生じたと指摘されています。

今こそスポーツ活動を通して大いに汗を流して運動能力を高め、仲間との交流・親睦を深めて心身の健康維持・増進に努め、社会参加することが非常に重要なときです。

こんな変化が3つ当てはまると要注意です。いかがでしょう？



※ フレイルとは、歳を重ね、心の活力(筋力、認知機能、社会とのつながり等)が低下した状態のことです。「虚弱」を意味する英語「frailty」が語源です。(東京いきいき通信28号参考、抜粋)